

(様式第4号)

上田中央地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田中央地域協議会
2 日時	平成28年8月23日 午後3時30分から午後5時20分まで
3 会場	市民プラザ・ゆう 2階 大会議室
4 出席者	伊藤委員、岩野委員、金井委員、桐島委員、小山委員、斉藤委員、谷藤委員、中澤委員、成澤委員、樋村委員、藤木委員、古川委員、増田委員、丸山幸雄委員、丸山理英子委員、宮下委員、山浦委員、吉田委員
5 市側出席者	竜野地域振興政策幹、武捨市民参加・協働推進課長補佐、小林市民参加・協働推進担当係長、樋口市民参加・協働推進担当主事 (丸子まちづくり会議)下村会長、丸山副会長、齋藤事務局長
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成28年8月31日

協議事項等

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議

(1) 地域内分権の推進について

- ・市内他地区の進捗状況について、事務局から説明
- ・丸子地域における取組内容や経過について、丸子まちづくり会議 下村会長、丸山副会長から説明
- ・以下、質疑応答

(委員) 世帯数が少ない自治会も地域にはあるわけだが、自治会役員等の成り手がいない場合、住民自治組織に相談できるのか。

(下村会長) 将来的には各自治会が役員を選ぶのではなく、まちづくり会議全体の中で決めていければという意見も出ている。また、自治会長の負担を減らし、まちづくり会議で集約できることがあるのではないかと考えている。

(委員) 自治会連合会があるのに、それとは別になぜまちづくり会議をつくらなければならないのか。自治連があるから十分ではないかという声に対してどう答えていくのか。また、地域協議会と住民自治組織の役割がはっきりしていないように感じる。

(丸山副会長) あくまでも自治会を否定するものでなく、自治会が基礎組織になると考えている。そのため、自治会の方々が納得しないと意味がない。また、地域協議会は市の諮問機関であるため、意見を述べる事が出来ても、自分達で実行ができなかった。まちづくり会議では、自分達で課題を見つけて、交付金を活用し、実行ができる組織である。

(委員) 住民自治組織において、自治会の代表を出してほしいというが、成り手がいないところは出せない。現状の中では負担が増えるだけである。また、いずれ人口が減少するというお話だが、なかなか実感がわからない。人口が少なくなるからといって、まとめて大きな組織を作るという考えはいかがかと思う。

(下村会長) 新しい組織を立ち上げるので、確かに負担はかかると思う。また、人口が少なくなってくるからまとめるというわけではなく、意見を反映できる新たな環境ができると考えていただければ良いのではないか。

(丸山副会長) 丸子地域としては将来的な事を考えてると、今が住民自治組織を設立する最後の好機と捉えた。丸子地域の文化や特性を活かし上田市の一つの地域として輝いていくためということもある。

(委員) 丸子地域の高齢化率はどれくらいか。

(丸山副会長) 全体では約30%である。

(委員) 中央地域と比べ、丸子地域のように新しい人が入ってきている地域とは根本的に違うように感じる。

(丸山副会長) 丸子地域でも人口減少は進んでいる。将来人数が少なくなった時に、住民自治組織が自治会をどう助けることができるかという視点で考えれば良いのではないか。

(委員) 地域内分権の取組が進んでいる地域は、賛成している人が多いと感じていたが、反対があっても強いリーダーシップをとり、住民自治組織が設立できたポイントは何か。

(丸山副会長) 将来の人口減少や財政難の中、安心安全で、ここに住んでよかったと思える地域をつくっていくために、住民自治組織が必要だと思えることである。

(委員) 各地域において必要性が違う事を考えさせられた。住民自治組織のメンバーとなる各種団体とはどういうものか。個人でも良いのか。

(丸山副会長) 地域で活躍している市民活動団体やNPO法人等を想定している。

(委員) 具体的にどのような組織をつくり、何をやるかが分からない。

(下村会長) 住民自治組織を設立していれば、交付金を活用して、地域課題解決のために活動することできる。また、例えば防災の面で考えると、自治会単位ではなく、ある程度まとまっていることにより管理等が簡素化すると思う。

(委員) 旧町村は合併に対する危機感等があったため、住民自治組織設立の取組が始まったように思える。

(丸山副会長) 危機感があるという理由で設立していない。今後、丸子地域の魅力を生かしていくことを考えて設立した。現在は、これからまちづくり会議で何をしていくかということを探るためにアンケートを実施している。同時に各地区で地区会議の立ち上げに取り組んでいる。

(委員) 自治会の代表者が住民自治組織へ入るのか。

(下村会長) 必ずしもそうではないが、自治会関係者が入らないと各地区のことがわからないので進めていくには入っていた方が良いと思う。

(丸山副会長) 丸子まちづくり会議では、5地区自治連の中から代表者2名ずつ選出している。

(委員) 交付金600万円の使い道は。

(下村会長) 300万は備品購入費、事務費と人件費。残りの300万は運営費。

(委員) 丸子まちづくり会議では今後交付金をどのように活用していきたいと考えているのか。

(下村会長) アンケート結果を分析しながら、検討していきたいと思う。総会で決まっている事は、地域まちづくり計画の作成、地区会議の設立支援、まちづくり計画のホームページの立ち上げである。

#### ウ 今後の進め方について

(委員) すでにモデル地区としてスタートしている地域があるが、中央地域では必要性が感じられない。また、市から十分な説明がされておらず、理解されていないのが現状だと思う。

(委員) 今日お聞きした話も含め、住民自治組織について整理していく時間が必要かと思う。

#### 4 その他

##### (1) 当面の日程

ア 9月20日(火) 13:30(会場:中央公民館 3階 視聴覚室)

イ 10月20日(木) 13:30(会場:未定)

ウ 11月24日(木) 13:30(会場:未定)

##### (2) その他

・事務局から、わがまち魅力アップ応援事業第2回募集の審査結果及び第3回募集について報告

#### 5 閉会